

けんちゅうNews

発行／2021年10月22日 発行者／島根県立中央病院 〒693-8555島根県出雲市姫原4丁目1-1

栄養管理科の取り組みを紹介します！

小児食について

栄養管理科では患者さんにより美味しく、栄養のある食事をお届けできるように定期的に献立の見直しや新メニューの導入などを行っています。

その中から、2020年7月から取り組んできた小児食メニューの改善についてご紹介します。

入院中は治療のためにも特にしっかりと食べていただきたいところですが、痛みや環境の変化、嗜好などによってどうしても食が進まない時があるかと思えます。そんな中でも、少しでも楽しく・美味しく食べていただけるよう、小児向けの食事に週1回お楽しみ献立を導入しました。

お楽しみメニューは下記のカレーライスとプレートを隔週でお届けしています。

食事の時間が少しでも楽しく・癒しの時間となりますように。

お楽しみ献立②

- ・お子様プレート
(おにぎり、ハンバーグ、卵焼き、枝豆)
- ・フルーツゼリー



お楽しみ献立①

- ・カレーライス
(ミッフィーやアンパンマン)
- ・サラダ
- ・果物



産後おやつのリニューアル

「授乳中はお腹が空く」などの声を聞き、アンケートを実施。「産後の体に適した栄養バランスのよい食事」と「手作りおやつ」の希望が多くありました。

そこで、栄養士が工夫を重ね、くだものや手作りプリンなど、まるでカフェのような華やかな盛り付けのおやつが完成！院内で試作会も行いました。産科医・助産師の意見も取り入れ、1日約170 kcalと栄養バランスもバッチリ。提供に向けて現在調整中です。



試作会の様子



アンケートを手に
真剣な表情の
産科小児診療部長と
産婦人科部長



手作りプリン



果物盛り合わせ



おはぎとみたらし団子

今月の ギャラリーえにし

10月のギャラリーえにしは、「ゆめバス展」と題して当院のバス停を飾るため、ここに保育所の園児の皆さんに、乗ってみたい夢のバス（ゆめバス）を画いていたいただいた作品展です。ぜひご覧ください。



作品はこちらでも
ご覧いただけます

Instagram



@gallery.enishi

出前講座 「認知症が気になったら」

10月13日、JAしまね出雲地区本部へ伺い、出前講座を行いました。今回は、JAしまね出雲やすらぎ会「スキルアップ講座」に参加の皆さまへ「認知症が気になったら」をテーマに講演。当院の認知症看護認定看護師 曾田 摂子 看護師が、認知症の原因や予防、どんな支援が必要かなどについてお話ししました。

参加された方からは、「日頃からできることをやってみる」「他人事ではなく、自分のこととして考えたい」といった感想をいただきました。



講演の様子

ご報告

コーヒードリップバッグ 500杯分をいただきました

令和3年10月8日に、松江市学園2丁目のコーヒー専門店「Cafe Mocha」(カフェモチャ)の門脇裕二代表から県立中央病院に対し、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者への感謝の気持ちとして500杯分のコーヒードリップバッグを寄贈いただきました。

門脇代表は「医療従事者の方はコロナ禍で大変な中ですが、コーヒーを飲んでいただいて、少しでも



贈呈式の様子

も息抜きができればと思います。」と話されました。小阪病院長は「たくさんありがとうございます。職員は強い使命感をもって業務に取り組んでいます。ほっとする時間を持つことは難しい状況ですが、休憩時間においしいコーヒーをいただいて気が休まればと思います。」と感謝の言葉を述べました。大変ありがとうございました。



島根県立中央病院

〒693-8555 島根県出雲市姫原四丁目1番地1
TEL:0853-22-5111 FAX:0853-21-2975
URL: <https://www.spch.izumo.shimane.jp/>
Mail: spch@spch.izumo.shimane.jp
【問合せ先】島根県立中央病院 広報室



公式Facebook